

2018年11月8日

各位

会社名：富士石油株式会社
 代表者名：取締役社長 柴生田 敦夫
 (コード番号：5017 東証第一部)
 問合せ先：総務部 IR・広報グループ 祖父江 高明
 TEL：(03)5462-7803
 URL：<http://www.foc.co.jp/>

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2018年8月9日に公表した2019年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2019年3月期通期連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2018年8月9日発表)	570,900	12,700	10,300	8,200	106.41
今回修正予想(B)	549,000	12,500	11,200	9,200	119.38
増減額(B-A)	△21,900	△200	900	1,000	
増減率 (%)	△3.8	△1.6	8.7	12.2	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	423,772	11,188	8,633	7,945	103.11

2. 修正の理由

前回予想(2018年8月9日発表)以降の業績の動向等を勘案し、通期の業績予想を修正します。今回の修正見通しの前提として、原油価格(ドバイ原油)は下期 65ドル/バレル(前回予想同 65ドル/バレル)、為替レートは下期 110円/ドル(前回予想同 110円/ドル)といたしました。

売上高は、前回予想比 219 億円減収の 5,490 億円となる見通しです。

損益につきましては、10 月初めの停電に伴う弊社袖ヶ浦製油所の主要装置の停止(詳細は、本日公表の「台風 24 号による停電に伴う主要装置の停止と再稼働に関するお知らせ」をご覧ください)により、製品販売数量が減少するものの、在庫影響による原価押し下げ要因が想定を上回る見込みであること等により、営業利益 125 億円(前回予想比 2 億円減益)、経常利益 112 億円(同 9 億円増益)、親会社株主に帰属する当期純利益 92 億円(同 10 億円増益)となる見通しです。

なお、在庫影響を除いた営業利益相当額は 91 億円(前回予想比 14 億円減益)、経常利益相当額は 78 億円(同3億円減益)となる見通しです。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上